

特別企画：和歌山県内企業メインバンク調査

紀陽銀行が全地域、全業種でシェアトップ ～第2位はきのくに信金、上位2行でシェア8割超～

はじめに

2018年もマイナス金利による貸出金利低下などで、金融機関にとって厳しい経営環境が続いた。上場地銀80行の2018年9月期中間決算では、全体の約7割に当たる55行が減益となった。近畿でも2018年9月中間期で地銀、第二地銀8行のうち7行で本業のもうけを示す実質業務純益（単体）が減益となった。そのため、各金融機関ではITフィンテック化の推進、越境融資など、生き残りに向けた模索が続けられている。

こうしたなか、同年には十八銀行がふくおかフィナンシャル・グループ（FG）の傘下に入る形での経営統合が公正取引委員会より正式に認められた。同グループは2019年4月に経営統合を実現させる見通しで、さらに2020年には長崎県を地盤とする傘下の親和銀行と十八銀行の経営統合を計画している。この統合は、今後同一県内での地銀再編におけるモデルケースとなる公算が大きい。大阪府下でも2019年4月1日に近畿大阪銀行と関西アーバン銀行が合併し、新たに関西みらい銀行が誕生する。今後、地域金融機関では企業との関係構築・深化が一層求められている。

帝国データバンク和歌山支店では、2018年11月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている和歌山県内の企業（12,862社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。同調査は2017年12月に続き3回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なることがある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果（要旨）

1. 和歌山県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「紀陽銀行」で全体の63.7%を占めた。「きのくに信金」がシェア16.6%でこれに続き、この上位2行でシェア8割超を占める
2. 和歌山県内の企業を本社が所在する4地域別にみると、いずれの地域でも「紀陽銀行」がトップで、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「紀北エリア（和歌山市除く）」（66.4%）で最高
3. 和歌山県内の企業を業種別にみると、主要8業種で「紀陽銀行」がトップ、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「サービス」（67.5%）で最も高かった

1. 県内ランキング ～紀陽銀行が 63.7%でトップ～

和歌山県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「紀陽銀行」（和歌山市）が 8,198 社（前回調査比 17 社増）、構成比 63.7%（同 0.2 ポイント減）で、社数は伸ばしたもののシェアはダウン。前回調査に続き 2 位以下に大きく差をつけて首位をキープ、和歌山県内では引き続き存在感を示した。2 位は「きのくに信金」（和歌山市）の 16.6%（2,130 社）。上位 2 行の合計は 80.3%（同 0.1 ポイント減）で前年同様に 8 割以上のシェアを維持した。

県内に本店を置く金融機関では、「新宮信金」（249 社、構成比 1.9%）が、前回調査比 8 社増加し 6 位を維持したほか、11 位には「紀南農協」（70 社、0.5%）が続いた。県外に本店を置く金融機関をみると、「南都銀行」（奈良市、378 社、2.9%）が 4 位に、「第三銀行」（三重県松阪市、242 社、1.9%）が 7 位に入った。大手 4 行の順位では「りそな銀行」（97 社、0.8%）が 8 位（前回 10 位）に上昇したのに対し、「みずほ銀行」（96 社、0.7%）は 9 位（前回 8 位）から順位を落とした。

メインバンク社数上位 20 行

順位	前回 順位	金融機関名	所在地	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	和歌山市	8,198	63.7%
2	(2)	きのくに信金	和歌山市	2,130	16.6%
3	(3)	三菱UFJ	東京都千代田区	424	3.3%
4	(4)	南都	奈良市	378	2.9%
5	(5)	三井住友	東京都千代田区	322	2.5%
6	(6)	新宮信金	和歌山県新宮市	249	1.9%
7	(7)	第三	三重県松阪市	242	1.9%
8	(10)	りそな	大阪府中央区	97	0.8%
9	(8)	みずほ	東京都千代田区	96	0.7%
10	(9)	商工中金	東京都中央区	95	0.7%
11	(11)	紀南農協	和歌山県田辺市	70	0.5%
12	(12)	関西アーバン	大阪府中央区	61	0.5%
13	(14)	池田泉州	大阪府北区	53	0.4%
14	(13)	ありだ農協	和歌山県有田市	51	0.4%
15	(15)	紀州農協	和歌山県御坊市	47	0.4%
16	(16)	ゆうちょ	東京都千代田区	46	0.4%
17	(17)	紀北川上農協	和歌山県橋本市	41	0.3%
18	(18)	百五	三重県津市	31	0.2%
19	(19)	ながみね農協	和歌山県海南市	20	0.2%
20	(20)	和歌山県信連	和歌山市	19	0.1%
		みくまの農協	和歌山県東牟婁郡	19	0.1%

2. 地域別シェアランキング

地域別¹にみると、全地域で「紀陽銀行」が1位、「きのくに信金」が2位となり、地域別にみても上位2行の強さが際立っている。「紀陽銀行」のシェアは、「紀北エリア（和歌山市除く）」（66.4%）で最高となった。また、全地域において上位の変動はなく、メインバンクの構成に大きな変化は見られない。

3位以下では、各地域での特徴が見られた。「和歌山市」では、3位から6位までを大手4行が占め、都市部で大手4行が一定の存在感を示している。「紀北エリア（和歌山市除く）」では、奈良を基盤とする「南都銀行」が、前回調査比で0.2ポイントシェアを上げ3位を維持。「紀中エリア」では3位に「ありだ農協」、4位に「紀州農協」と地元農協がランクイン。また「ゆうちょ」は前年6位から5位へと順位を上げた。「紀南エリア」においては、当エリアを地盤とする「新宮信金」が3位に、「紀南農協」が6位に入っている。

地域別メインバンク社数上位行

【和歌山市】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	3,259	64.3%
2	(2)	きのくに信金	794	15.7%
3	(3)	三井住友	274	5.4%
4	(4)	三菱UFJ	216	4.3%
5	(5)	みずほ	84	1.7%
6	(6)	りそな	82	1.6%
7	(7)	商工中金	67	1.3%
8	(8)	第三	55	1.1%
9	(9)	南都	51	1.0%
10	(10)	池田泉州	45	0.9%

【紀北エリア（和歌山市除く）】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,948	66.4%
2	(2)	きのくに信金	383	13.1%
3	(3)	南都	325	11.1%
4	(4)	三菱UFJ	58	2.0%
5	(5)	紀北川上農協	41	1.4%
6	(6)	三井住友	34	1.2%
7	(7)	関西アーバン	23	0.8%
8	(8)	ながみね農協	20	0.7%
9	(10)	紀の里農協	16	0.5%
10	(9)	商工中金	15	0.5%

【紀中エリア】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,412	63.7%
2	(2)	きのくに信金	629	28.4%
3	(3)	ありだ農協	51	2.3%
4	(4)	紀州農協	43	1.9%
5	(6)	ゆうちょ	14	0.6%
6	(5)	三菱UFJ	12	0.5%
7	(6)	三井住友	9	0.4%
		商工中金	9	0.4%
9	(9)	近畿産業信組	5	0.2%
		なぎさ信漁連	5	0.2%

【紀南エリア】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,579	59.7%
2	(2)	きのくに信金	324	12.2%
3	(3)	新宮信金	248	9.4%
4	(4)	第三	179	6.8%
5	(5)	三菱UFJ	138	5.2%
6	(6)	紀南農協	68	2.6%
7	(7)	百五	31	1.2%
8	(8)	みくまの農協	19	0.7%
9	(9)	ゆうちょ	10	0.4%
10	(10)	なぎさ信漁連	7	0.3%

¹エリアの区分は次のとおり

紀北エリア＝海南市、海草郡、紀の川市、岩出市、橋本市、伊都郡

紀中エリア＝有田市、有田郡、御坊市、日高郡

紀南エリア＝田辺市、新宮市、西牟婁郡、東牟婁郡

3. 業種別ランキング

主要8業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「サービス」「運輸・通信」「農林・漁業・水産」「不動産」）別の上位金融機関は以下の表の通り。「紀陽銀行」が全業種にわたって5割超のシェアを占めてトップとなった。とりわけ「サービス」は67.5%、「建設」は66.4%と高いシェアとなっている。

2位は全業種で「きのくに信金」が占めた。また、「三菱UFJ銀行」が「卸売」「小売」「不動産」で3位に、「三井住友銀行」が「サービス」「運輸・通信」で3位、「南都銀行」も「建設」「製造」で3位となった。

県内の金融機関では、「新宮信金」が「建設」「小売」「不動産」で5位、「サービス」で6位、「卸売」で7位にランクイン。県外の金融機関では、「南都銀行」が6業種で、「第三銀行」が5業種でランクインしている。

主要8業種別メインバンク社数上位行

【建設】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	2,860	66.4%
2	(2)	きのくに信金	814	18.9%
3	(3)	南都	106	2.5%
4	(4)	第三	92	2.1%
5	(5)	新宮信金	84	2.0%
6	(6)	三菱UFJ	73	1.7%
7	(7)	三井住友	58	1.3%
8	(8)	紀南農協	33	0.8%
9	(9)	ありだ農協	29	0.7%
10	(10)	関西アーバン	23	0.5%

【製造】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	904	60.2%
2	(2)	きのくに信金	228	15.2%
3	(4)	南都	82	5.5%
4	(3)	三菱UFJ	80	5.3%
5	(5)	三井住友	45	3.0%
6	(6)	商工中金	35	2.3%
7	(7)	みずほ	27	1.8%
8	(9)	りそな	23	1.5%
9	(8)	第三	22	1.5%
10	(10)	池田泉州	12	0.8%

【卸売】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	765	61.4%
2	(2)	きのくに信金	189	15.2%
3	(3)	三菱UFJ	67	5.4%
4	(4)	三井住友	54	4.3%
5	(5)	南都	39	3.1%
6	(6)	第三	34	2.7%
7	(7)	新宮信金	33	2.7%
8	(8)	みずほ	17	1.4%
9	(9)	りそな	13	1.0%
10	(10)	商工中金	10	0.8%

【小売】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,023	60.1%
2	(2)	きのくに信金	325	19.1%
3	(3)	三菱UFJ	87	5.1%
4	(4)	南都	63	3.7%
5	(5)	新宮信金	55	3.2%
6	(6)	第三	33	1.9%
7	(7)	三井住友	29	1.7%
8	(8)	りそな	15	0.9%
9	(9)	みずほ	11	0.6%
10	(10)	関西アーバン	10	0.6%

【運輸・通信】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	265	60.5%
2	(2)	きのくに信金	71	16.2%
3	(3)	三井住友	19	4.3%
	(4)	南都	19	4.3%
5	(5)	商工中金	14	3.2%

【不動産】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	331	57.2%
2	(2)	きのくに信金	109	18.8%
3	(3)	三菱UFJ	30	5.2%
4	(4)	三井住友	22	3.8%
5	(5)	新宮信金	14	2.4%

【サービス】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,961	67.5%
2	(2)	きのくに信金	373	12.8%
3	(3)	三井住友	90	3.1%
4	(4)	三菱UFJ	70	2.4%
5	(5)	南都	59	2.0%
6	(6)	新宮信金	47	1.6%
7	(7)	第三	40	1.4%
8	(8)	ゆうちょ	28	1.0%
9	(10)	紀南農協	20	0.7%
10	(8)	商工中金	18	0.6%
	(11)	りそな	18	0.6%

【農林・水産】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	50	54.9%
2	(2)	きのくに信金	9	9.9%
3	(3)	紀南農協	5	5.5%
	(4)	紀北川上農協	5	5.5%
5		紀の里農協	4	4.4%

4. まとめ

和歌山県下のメインバンクは、引き続き上位2行の地元を地盤とする地域金融機関が8割を超える高いシェアを維持している。地域別でみると、和歌山市では大手4行が上位2行に続いているが、それ以外の地域では、地域密着型の信用金庫、農協に加え、ゆうちょなどの金融機関が存在感を示している。また、業種別でみると、「建設業」「サービス業」ではトップの「紀陽銀行」のシェアが突出して高いことが判明した。

その一方で近年、少子高齢化による地域人口の減少や経済の縮小を背景に、預金を貸出に回して利ざやを得る銀行本業の部分では利益が得にくくなっている。こうしたなか、金融庁の有識者会議がまとめた報告書によれば、人口減少など経営環境の悪化で地銀1行のみでも経営存続が難しいとした地域は、23県に上ると試算。収益の確保で県境を越えた再編を含めて選択肢になっている。このような状況下、各金融機関は付加価値の高いサービスにより金利反転に向けた取り組みをスタートさせている。経営環境が大きく変化している金融業界にあつては、過度な金利競争から脱却するため、新たなビジネスモデルへの転換が急務となっているといえるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク和歌山支店 担当：馬場 基史

TEL 073-433-3128 FAX 073-422-6190

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。